

上智大学短期大学部 英語科の入学者受け入れの方針	学力の三要素 配分	
<p>上智大学短期大学部英語科は、多様化する国際社会で多文化共生社会の実現に向け活躍できる人材を育成するために、様々な背景を持つ学生がともに学ぶことを教育方針にしており、多角的視点から学生を選抜する入試制度に取り組んでいます。</p> <p>それぞれの入試種別において求める学生像及びそれにおける学力の三要素と関連した能力、審査方法は以下のとおりです。</p>	<p>各入試における学力の三要素の配分を以下に記号(☆)の数で示します。配分の高い順に星三つ(☆☆☆)、星二つ(☆☆)、そして星一つ(☆)と表記されます。</p>	
<p>1.【総合型選抜 英語クラス体験方式】</p> <p>【目的】英語を能動的に使用し、学生生活における様々な活動や学生間の交流に積極的に参加し、他の学生の模範となりうる資質を持つ者を選考することにより、大学全体を活性化。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を選考する。</p> <p>【求める学生像】 【基本像】英語を他者とのコミュニケーションの手段として積極的に使用し、他者とのかかわりの中で英語と日本語で自己表現をしようとする意欲と基礎力を持つ者。</p> <p>【知識・技能】本学で1日をかけて実施される英語でのクラス学修において、英語を他者とのコミュニケーションの手段として積極的に使用するための基礎的な語彙・文法の知識を有し、英語と日本語を使い口頭と文章で簡潔に言語化する技能を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】クラス学修において、英語圏文化等にかかわる問題について自己の意見を整理し、それらの問題について適切な判断を行い、英語と日本語を通して自らの意見を口頭と文章で分かり易く簡潔に他者に対して表現できる者。志望理由書において、自らの考えを明確に表現できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】クラス活動に積極的に参加するとともに、自分とは異なる他者の意見や立場を、理解したうえで尊重し、それらに自らの意見を結びつけ、問題への理解を深化するため、他者との建設的な議論ができる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 本学キャンパスで一日かけて行われる英語クラスでの活動</p>	<p>【知識・技能】</p>	☆☆☆
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	☆☆☆
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p>	☆
<p>2.【学校推薦型選抜 指定校推薦】</p> <p>【目的】出身高等学校と本学との架け橋となり、将来の入学者へ系譜を繋ぐ。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を集める。</p> <p>【求める学生像】 【基本像】高等学校において、英語及びその他の科目においてバランスのとれた基礎学力を有する者で、高等学校長が推薦する者。高等学校において、部活動や特別活動を通して自己を高め、それらの経験を通して本学における学生生活をさらに充実させ発展させていく意欲と資質、人柄を持つ者。</p> <p>【知識・技能】英語で明確に自己紹介をするために必要な、基礎的英語の語彙、文法の知識、そして文構成の技能を持つ者。日本語で、課題として示される問題について論じるために必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】英語で明確に自己表現することができる者。課題として示される問題について日本語で論じる際に、論理的に考え、扱うべき内容の重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】日本語での課題文において、与えられた問題について自己の意見を整理したうえで表現し、自分とは異なる他者の意見や立場に立って理解し尊重することができ、それらに自らの意見を結びつけ、問題理解の深化のため、建設的な議論ができる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 課題審査(日本語での課題文。英語での自己紹介文)</p>	<p>【知識・技能】</p>	☆☆
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	☆☆☆
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p>	☆
<p>3.【学校推薦型選抜 公募制推薦A・B】</p> <p>【目的】出身高等学校と本学との架け橋となり、将来の入学者へ系譜を繋ぐ。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を集める。</p> <p>【求める学生像】 【基本像】高等学校において、英語及びその他の科目においてバランスのとれた基礎学力を有する者で、高等学校教員が推薦する者。高等学校において、部活動や特別活動を通して自己を高め、それらの経験を通して本学における学生生活をさらに充実させ発展させていく意欲と資質、人柄を持つ者。</p> <p>【知識・技能】課題の英文を理解するための基礎的語彙、文法、読解知識を持ち、それに関する質問に、日本語と英語の双方により、明確に答えるための言語技能を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】課題の英文について日本語で論理的に考え、そこで扱われる問題が示す重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。また英語においても、それらについて、明確に意見を表現できる者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接において、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見表明できる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 面接(入試要項でお知らせする「課題文(英語)」の内容に関する質問も含む。上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>	<p>【知識・技能】</p>	☆☆☆
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	☆☆
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p>	☆

<p>4.【卒業生・在学生子女姉妹】</p> <p>【目的】本学の教育方針への理解と共感を抱く卒業生の期待に応え、その子女・姉妹の本学への帰属意識の一層の醸成とその効果を他の学生に波及させる。本学の理念を学生の中心的存在となって実践しうる人材を獲得する。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】本学のキリスト教ヒューマンイズムの教育方針に共感し、積極的に英語及びその他の本学の学修に取り組む意欲を持つ者。これらの学修を行う基礎学力を持つ者。</p> <p>【知識・技能】課題の英文を理解するための基礎的語彙、文法、読解知識を持ち、それに関する質問に、日本語と英語の双方により、明確に答えるための言語技能を持つ者。志望理由において、本学の教育理念および教育プログラムについて深い理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】課題の英文について日本語で論理的に考え、そこで扱われる問題が示す重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。また英語においても、それらについて、明確に意見を表現できる者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接において、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見表明できる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 面接(入試要項でお知らせする「課題文(英語)」の内容に関する質問も含む。上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>		<p>【知識・技能】</p>	☆☆☆
<p>5.【総合型選抜 英検・GTEC・TEAP等利用方式 A～D】</p> <p>【目的】英検、GTEC、TEAP等による英語の学力審査を行うことで、受験の機会を拡充する。本学の教育方針に共感し理念を実践していく志を持つ学生を選考する。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】英語能力検定試験において、本学における英語学修を行う基礎力(TEAP PBT四技能 135点、TEAP CBT四技能235点、英検準二級、GTEC Advanced及びGTEC CBT四技能690点等)を示した者。英語及び本学の学修について広く関心を持ち、それらについて自己の考えを積極的に表現する意欲を持つ者。</p> <p>【知識・技能】英語での明確な自己表現とそれに関する質問に答える際に必要な基礎的な英語の語彙、文法、文構成の知識及び発話技能を持つ者。また面接において、言語や異文化、社会事象にかかわる問題について、日本語と英語で議論する際に必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】面接で課題として示される問題について、日本語と英語で議論する際に、論理的に考え、発言すべき内容の重要性について適切な判断を行い、明確に自分の考えを表現する力を持つ者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接時に面接者とのコミュニケーションにおいて、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見交換ができる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 個人面接(上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>		<p>【知識・技能】</p>	☆☆☆
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	☆☆	
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p>	☆	
<p>6.【社会人】</p> <p>【目的】実社会での職業経験等を活かし、学業や他の学生との交流において本学に多様性や多角的な影響を与えることのできる人材を選考する。生涯学習に対する社会の要請に応える。社会人の学び直し(リカレント)の場を提供する。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を選考する。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】本学のキリスト教ヒューマンイズムの教育方針に共感し、積極的に英語及びその他の本学の学修に取り組む意欲を持つ者。社会経験をこれらの学修に活かす意欲と資質を持つ者。</p> <p>【知識・技能】日本語の小論文作成において、特定の主題について議論を行う上で前提となる人間と社会の在り方に関する知識、文章作成に必要な語彙・文法の知識を持ち、文章を論理的に構成する技能を持つ者。英語で明確に自己表現し、それに関する質問に答える際に必要な基礎的な英語の語彙、文法、文構成及び発話技能を持つ者。面接の課題として示される社会事象にかかわる問題について、日本語で議論する際に必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】日本語の小論文作成において、重要な主題を設定するための成熟した判断力と、主題に関する論理的で明確な思考力を持ち、自己の意見を表明する際に豊かな表現力を持つ者。また面接で示される社会事象にかかわる課題について日本語で明確、論理的、かつ説得力を持って自分の意見を表現できる者。志望理由において、社会での経験で得た自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接時に面接者とのコミュニケーションにおいて、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見交換できる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 設問を含む日本語の小論文60分100点 個人面接(上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>		<p>【知識・技能】</p>	☆☆
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	☆☆☆	
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p>	☆	

<p>7.【帰国生】</p> <p>【目的】海外生活経験者を広く集めることにより、様々な背景や文化を持った学生が集い、それにより学業及び学内文化に多様性を醸成する。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を選考する。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】本学のキリスト教ヒューマンズムの教育方針に共感し、英語及びその他の本学の学修について広く興味を持ち、それらについて自己の考えを積極的に英語で表現する意欲を持つ者。海外での学びや生活の経験をこれらの学修に活かす意欲と資質を持つ者。</p> <p>【知識・技能】日本語の小論文作成において、特定の主題について議論を行う上で前提となる人間と社会の在り方に関する知識と文章作成に必要な語彙・文法の知識を持ち、文章を論理的に構成する技能を持つ者。英語で明確に自己表現し、質問に答える際に必要な英語の語彙、文法、文構成及び発話技能を持つ者。日本語と英語の双方で、異文化・社会事象にかかわる問題について議論する際に必要な知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】日本語の小論文作成において、重要な主題を設定するための適切な判断力と、主題に関する論理的で明確な思考力を持ち、自己の意見を表明する際に豊かな表現力を持つ者。また面接において、日本語と英語の双方により、明確、論理的、かつ説得力を持って自分の考えを表現できる者。志望理由において、海外での経験で得た自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接時に面接者とのコミュニケーションにおいて、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見交換ができる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 設問を含む日本語の小論文60分100点 個人面接(上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>		【知識・技能】	☆☆
<p>8.【総合型選抜 課題文利用方式】</p> <p>【目的】本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を集める。筆記試験のみでは測定が困難な情報分析力や考察の視点、多彩かつ論理的な表現の素養を持つ学生を選考し、学生間の相互作用によるアカデミックスキル向上への意欲を育む。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】課題文にかかわる質疑応答において、日本語を他者とのコミュニケーションの手段として積極的に使用するための語彙力・文法の知識を持ち、英語を使いそれらを口頭で明確に言語化する技能を持つ者。課題文を基とし、自ら考える意欲と基礎力を持ち、自己の考えを発展させ積極的に表現する意欲を持つ者。</p> <p>【知識・技能】日本語の課題文を理解するための語彙、文法、読解知識を持ち、それに関する質問に、日本語と英語の双方により明確に答えることのできる言語技能を持つ者。言語や異文化、社会事象にかかわる問題について議論する際に必要な基礎知識を持つ者。志望理由において、本学の教育プログラムについて基本的理解を示すことができる者。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】課題文について論理的に考え、そこで扱われる問題が含む重要性について適切な判断を行い、明確、論理的で、かつ説得力を持って自分の考えを日本語で表現する力を持つ者。また英語においても、それらについて明確に意見を表現できる者。志望理由において、自分の学びと本学の教育プログラムとの関連性について、自分の将来を見据えながら明確に考え判断できる者。</p> <p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】面接において、自分の立場を明確にしながらも、他者の意見を尊重し、建設的に意見表明ができる者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 面接(入試要項でお知らせする「課題文(日本語)」の内容に関する質問も含む。上記の学力の三要素と関連した求める学生像で示された能力を問う際、一部英語での質疑応答も含む)</p>		【知識・技能】	☆☆☆
		【思考力・判断力・表現力】	☆☆
		【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】	☆

<p>9.【一般選抜A・B・C】</p> <p>【目的】本学の教育方針に共感する者に対し、学問と実践的知識を探究する機会を広く提供する。本学の教育方針に共感し理念を実践する志を持つ学生を選考する。</p> <p>【求める学生像】</p> <p>【基本像】英語を他者とのコミュニケーションの手段として積極的に使用し、英語での読解及び自己表現を行うのに必要な基礎学力を持つ者。本学の学修内容を理解し、自己表現を行うのに必要な日本語能力を持つ者。</p> <p>【知識・技能】大学での学修に必要な英語の基礎的な語彙、文法知識、読解技能、文構成の技能を持ち、かつ大学での学修に必要な日本語の語彙、文法知識、読解技能、文構成の技能を持つ者</p> <p>【思考力・判断力・表現力】英語読解における論理的思考力、そのような思考に基づいた的確な問題理解のための判断力、英語文章作成での論理的な意見の表現力を持つ者。日本語読解における、論理的思考力、そのような思考に基づいた的確な問題分析のための判断力、日本語論述での論理的かつ発展的思考を表現する力を持つ者。</p> <p>【選考方法】 書類審査 国語(国語表現・国語総合[現代文領域のみ])60分 50点 外国語(英語(コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ/記述式問題を含む))60分 100点</p>	
	<p>【知識・技能】</p> <p>☆☆☆</p>
	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>☆☆☆</p>
	<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】</p> <p>該当せず</p>
<p>【入学時までの修得が望ましい能力(履修科目・資格等)全入試制度共通】</p> <p>【英語】異文化を積極的に理解し、英語をコミュニケーションの手段として目的に応じて効果的に使用するために十分な英語力(「コミュニケーション英語基礎」「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」)</p> <p>【国語】文章や他者の意見を的確に把握するための理解力、及びそれに対する自らの意見を論理的に構築して表現する力(「国語総合」「国語表現」「現代文A」「現代文B」)</p> <p>【地理歴史】英語と英語圏の歴史や文化、社会事象を理解するための基礎知識(「世界史A」、または「世界史B」)</p>	